

議会だより



にこま

今年の予算

住みよい心豊かなふれあいの町



CONTENTS

特集 町民の声は届いたのか 14

今年のごとピックアップ 6

何に使う ふるさと納税 大幅増 10

町政のそこが聞きたい 一般質問 5人の議員が登場 16

第1回
Town NIKI assembly
定例会

議会HPは
スマホから
Check!



新年度のまちの予算



住みよい
心豊かな
ふれあいの町



誰もが住
みたくな
るまちへ



子どもセンター建設始動

農業の多面的機能の維持

定例会のあらまし

第1回定例会は、令和2年3月6日に開会し、3月17日に閉会しました。

町から、新年度当初予算、令和元年度補正予算、条例改正、指定管理者の指定、仁木道路線の認定・廃止が提案され、全ての議案を可決しました。

なお、新年度当初予算、当初予算関連議案（条例改正1件、指定管理者の指定1件、仁木町道路線の認定・廃止3件）は、予算特別委員会を設置し、これに付託して審査を行い、最終日の本会議において、付託した全ての議案を可決しました。

また、議会提出議案として、意見書4件と決議1件を提出し、全て可決しました。一般質問では、5人の議員が登壇し、町長に考えを問いました。

総合計画策定を開始

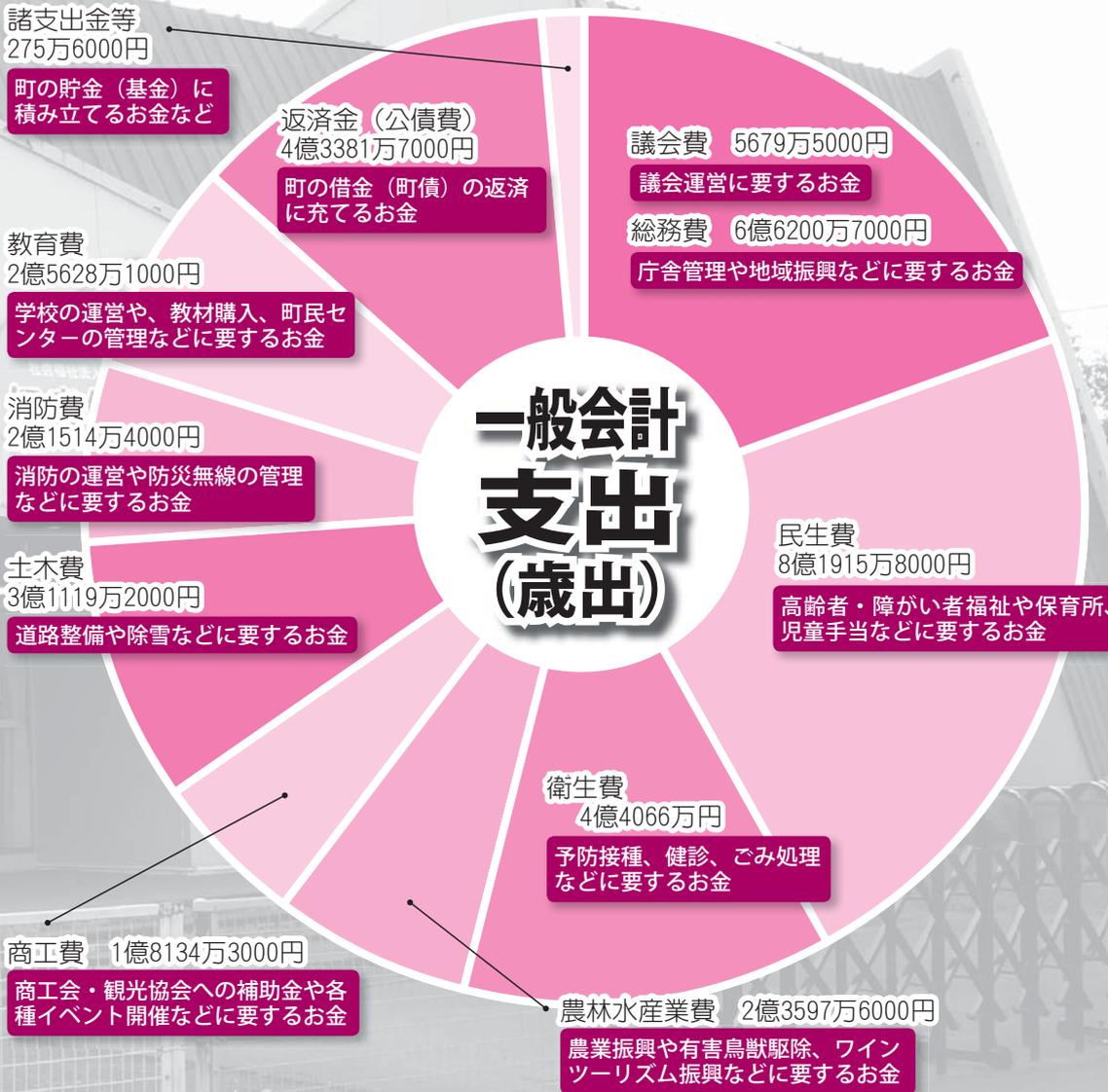
スキールフト券を支給



未来への 想い

令和2年
第1回定例会
3月6日~17日

子育て支援拠点施設の基本設計に着手



令和2年第1回定例会において、令和2年度一般会計予算と国保・簡水・後期高齢者医療の各特別会計予算が提案されました。
これに伴い設置された「令和2年度各会計予算特別委員会」における集中審議ののち、本会議において、討論・採決を行った結果、すべての会計を賛成多数で可決しました。

一般会計 (歳入・歳出)

36億1512万9000円

【前年度対比1.6%減】

特別会計

国民健康保険事業

2億712万8000円【前年度対比5.4%増】

簡易水道事業

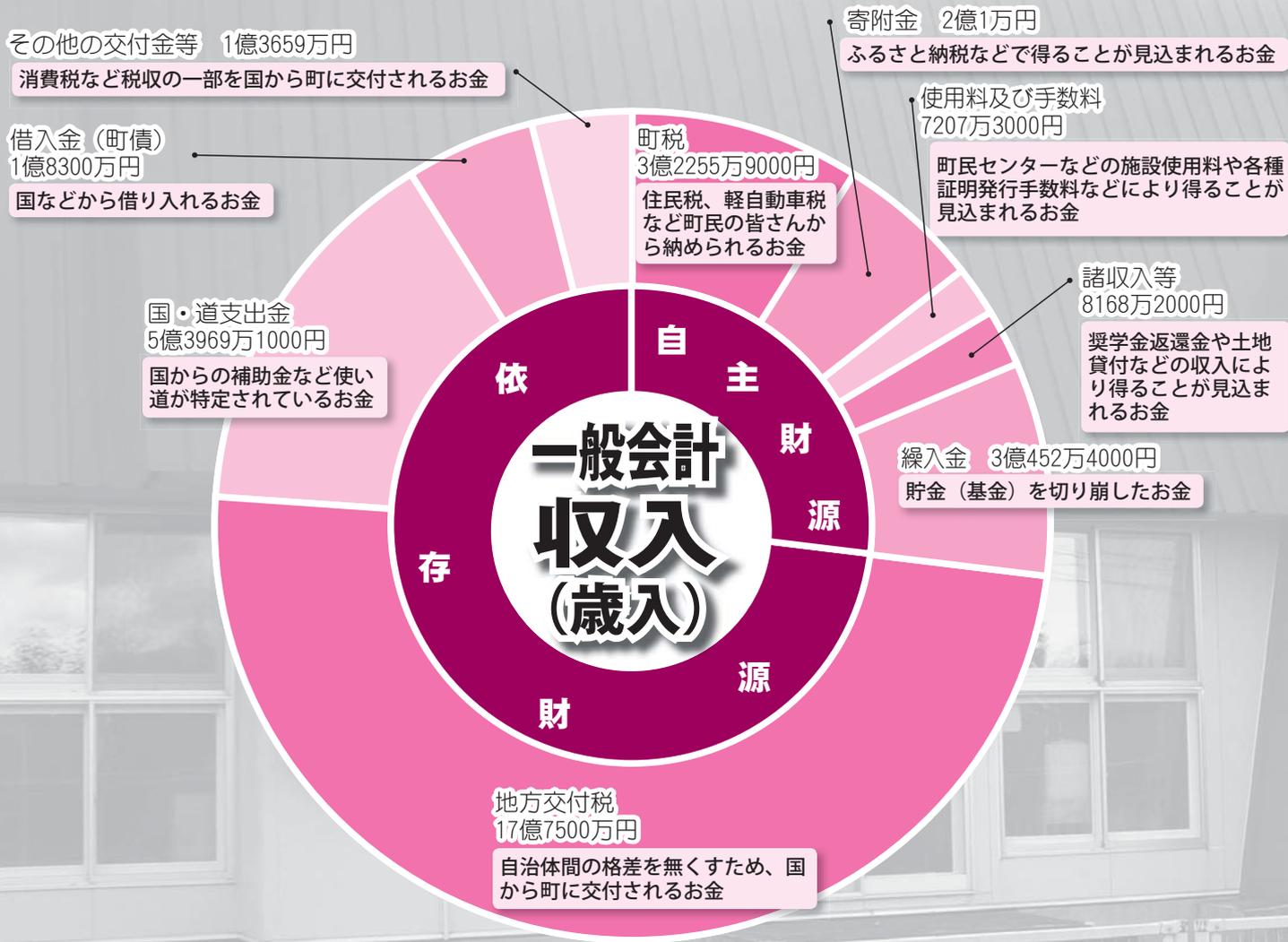
4億1761万5000円【前年度対比12.6%増】

後期高齢者医療

6941万円【前年度対比6.7%減】

新年度 予算

子どもたちの



町政執行方針

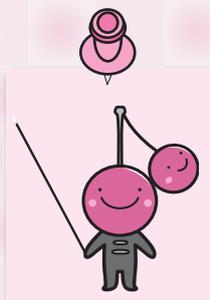
「ワンチーム」として最善の努力を



さとう せいいちろう
佐藤 聖一郎 町長

佐藤町長は、令和2年度町政執行方針において、『本年度は、就任2期目の集大成となります。町民の皆さまの声に真摯に耳を傾け、信頼と安心力を確かなものにしながら、役場が一丸となり「ワンチーム」として最善の努力を傾注し、行政運営に全力で取り組んでいく所存であります。誰もが住み続けたい・住みたくなる「魅力ある、住みよい、心豊かなふれあいを大切にするまち」の実現に向けて取り組んでまいります。行政の仕事は、町民のためにあるという認識の下、最適なサービスを的確かつ迅速に届けていくため、常に町民の目線で、いつでも地域に向き、町民の皆さまの声に耳を傾け、わかりやすい言葉で伝えるなど、全ての職員が、町民一人ひとりに寄り添った行政を推進できるよう、私自身が先頭に立ち、情熱と気概をもって一つひとつの課題に取り組んでまいります』と述べました。

しごと アツプ



継続 ふるさと納税の強化

2億円



収入は給食費の補助等にも
充てられています

ふるさと納税返
戻品をより充実さ
せることで、町内
特産品のアピール
を図り、令和2年
度は納税額2億円
を目指します。

お話を
聞かせて！



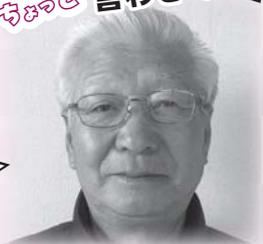
きだ
(尾根内・木田さん)

返戻品で、銀山で採れ
たお米のおいしさを多く
の方に知ってもらえたら
うれしいです。

また、ふるさと納税で
得た収入は、これからの
仁木町を担う子どもや、
若者の人材育成に役立て
てほしいです。

管理して10年目を迎
え、芝の管理は後志管内
でもとても評判が良いで
す。大会の開催も増えて
きており、この流れを維
持して行ってほしいです。

お話を
聞かせて！



かどわき
(北町・門脇さん)

1916万円



地域一丸となって水路を維持しています

助金を交付しま
す。動等に対し、補
上を図る共同活
域資源の質的向
な補修などの地
路、農道の軽微
畔の草刈や水

※本事業予算は大江、銀山、長沢、尾根内地区の合計額です

新規

農村環境の保全に補助

お話を
聞かせて！



きむら
(大江・木村さん)

大江地区は基盤整
備終了後約50年が経
過し、維持管理に多
額の費用がかかって
いますが、この事業
により、後々の維持
費が縮小され、次世
代へ良い環境で引き
継げることは良いと
思います。

2019万円



利用者の増加が望まれます

ふれあい遊
ピア公園及び仁
木町民スキー場
の指定管理者を
令和2年度から
の3年間の契約
で株式会社北海
道名販に指定し
ました。

継続

指定管理者を指定

今年の ピック

新規 シーズン券を支給

40万円



冬季スポーツの振興を図ります

町内の小学校に入学する1年生に町民スキー場のスキーリフトシーズン券を支給します。

おはつと 言わせて!



みた
(尾根内・三田さん)

小さいころからスキーの楽しさを知ってもらえるので、とても良い事業だと思います。

さらに、対象学年の拡大も検討してほしいです。

現在、おおきな木を利用していますが、施設が狭かったので楽しみです。

また、週3回しか開所していないので、これを機会に利用できる日がもっと増えると嬉しいです。

おはつと 言わせて!



ながの
(北町・長野さん)

908万円



完成に期待が膨らみます

昨年度策定された仁木町子育て支援拠点施設整備構想に基づき、建設工事の基本設計を実施します。

新規
子どもセンター
建設に着手

新規 町営住宅屋上改修工事

1225万円



築20年を迎える「サン・然別」

町営住宅「サン・然別」の屋上防水改修工事を行います。

おはつと 言わせて!



ほんだ
(然別・本田さん)

屋上は目に見えない部分ですが、定期的にメンテナンスしてくれるのでとても安心して住めます。

また、冬には外廊下の凍結が目立ちます。高齢の方も住んでいるので対策をしてほしいです。

予算の使い道

新年度一般会計・特別会計の当初予算案や当初予算関連議案などは、議長を除く議員8名で構成する「各会計予算特別委員会」を設置し、延べ4日間にわたり審査を行いました。

議案説明後、活発な質疑が行われ、全ての質疑が終わった後、議案ごとに討論・採決を行った結果、全ての議案を賛成多数で「可決すべきもの」と決定しました。

委員会での質問数 **225項目**

ふれあい遊トピア公園の今後は

ふれあい遊トピア公園は指定管理者にとっても魅力ある施設でなくてはならない。利益を出せる施設となることが重要だと考えるが、今後の計画は。

町長 時代の流れに合わせた改善・改革が必要



かどわきよしはる
門脇吉春 委員

であると考えており、担当課と指定管理者は互いに知恵を出し合いながら、良いものにしていくと検討している。今後、時間がかかったとしても町の財産として有効活用を図っていく。



みやもと みきお
宮本幹夫 委員長

妊婦の方への交通費の支援は

近隣に産婦人科がないこともあり、妊婦の方の通院は費用面の負担も大きくなる。支援の一つとして、通院に係る交通費を支給することはできないのか。

おもいやり係長 北海道の事業で補助制度があるが、



なほゆき なおゆき
直之 委員

産婦人科がある病院までの距離が要件に合致せず、導入できていない。
ほけん課主幹 重要だと認識しているが、限りある予算の中で、不妊治療や産後健診等への助成を優先している。

町道における水銀灯の管理は

長沢地区の町道脇に設置されている水銀灯の腐食が進み、とても危険な状態である。現状の確認や、移設・撤去について検討しているのか。

総務課長 2年ほど前に消防から連絡があり、担当が現地確認を実施した。



あきお きむら
木村章生 委員

当時は、錯はあるものの経過観察との判断をしている。
再度確認し、必要であれば周辺の用地等の状況も踏まえた上で、移設等の検討を行っていききたい。

皆さんの税金

新年度

スキーシーズン券支給のねらいは

新年度から新規で実施するジュニアスキーヤーシーズン券支給事業は、仁木町内の小学校に通う1年生を対象としているが、なぜ1年生のみを対象としたのか。

教育長 スキー場の現状として、使用者数は昭和

62年のピーク時の24万人に対し、平成30年は6万人と落ち込んでいる。少子化やスポーツ離れの影響もあり、スキー人口が減少しているため、小学校1年生で定着してくれることを願っている。



さとう ひでのり
佐藤秀教 委員

国保税を引き下げる理由はない理由は

平成30年度決算特別委員会にて国民健康保険財政調整基金が増加傾向にあり、国保税の引き下げを検討するとの答弁があったが、来年度に国保税を引き下げる理由はない理由は。

ほけん課長 後志広域連合の分賦金が1月に示さ



うえむら ちえこ
上村智恵子委員

れ、前年比6000万円の増であった。さらに、歳入でも大幅な減額が見込まれることから、来年度は2700万円を取り崩すこととなった。このような状況から、来年度に再検討することとした。

地域おこし協力隊へのサポートは

地域おこし協力隊が定住するには周囲のサポート体制が重要である。地域の人との情報交換の場を設けるなど、定住につなげるための取組は。

未来創生係主任 毎月の月報の提出時に面談を実施しているが、役場だけで



しまだ しげる
嶋田 茂 委員

はなく、地域のサポートも必要なため、地域に出て行くよう隊員には伝えている。
町のイベントもお知らせしており、隊員の中にはワークショップ等に参加している隊員もいる。

私道除排雪補助の件数と今後の対応は

私道の除排雪補助金の実績は何件か。また、1路線に対する住宅が減少した場合に、残った各家庭の負担が増えることへの対策は。

建設課長 令和元年度実績で32件である。



のざき あきひろ
野崎明廣 委員

また、1路線に対する世帯数が減少し、各家庭の負担が増えた場合の対策については、現状の補助は戸数ではなく延長を対象としているため考えていきたい。

大幅増

令和元年度各会計補正予算結果

補正額

予算総額

- 一般会計（7回目の補正） ※専決第3号
1億645万8000円増 39億2064万8000円
- 一般会計（8回目の補正）
9094万7000円減 38億2970万1000円
- 一般会計（9回目の補正） ※追加議案
1496万6000円増 38億4466万7000円
- 国民健康保険事業特別会計（5回目の補正）
27万3000円減 2億187万4000円
- 簡易水道事業特別会計（3回目の補正）
1135万5000円減 3億5972万6000円
- 後期高齢者医療特別会計（4回目の補正）
6万9000円増 7261万円

補正予算

◇一般会計（専決第3号）

一般会計補正予算（専決第3号）は、ふるさと納税特産品贈呈事業による追加補正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で承認**しました。

ふるさと納税特産品贈呈事業は令和元年第4回定例会における一般会計補正（第4号）に引き続きの追加補正であり、納税額は前回補正時の見込みと比較し約1億円の大幅な増額となりました。

◇一般会計（第5号）

一般会計予算は、職員の間外勤務手当、各種スポーツ大会参加報償などによる増額補正や、地域おこし協力隊関係経費等の執行残による減額補正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

◇国保特別会計（第4号）

全員賛成で可決

◇簡水特別会計（第3号）

全員賛成で可決

◇後期医療特別会計（第3号）

全員賛成で可決

質疑あれこれ

Q 不動産収入の増額補正の内訳は。また、遊休町有地の払い下げに関して、何か取組を実施したのか。

A 森林施業における伐採木の売払いの他、高規格道路の用地買収に係る土地と立木の売却収入である。

遊休町有地の有効活用については、次期総合計画の中で新たに検討していきたい。

Q 仁木町街路灯設置補助金の実績は。

A 各町内会などの団体にLED設置費用の3分の2を補助する等の事業であり、特にLED設置事業は多くの町内会で普及が進んでおり、約500万円の予算に対し、約307万円の実績であった。

Q 地域おこし協力隊に関する費用は、途中で辞められた方の減額補正がされている。この制度を活用してから既に3名の隊員が辞めているが、どう受け止めているのか。

A どのような部分に要因があるかを検証しながら取組を展開している。行政としても、また、地域住民の方々も、隊員に寄り添い、手を差し伸べてあげられるような状況を作っていきたい。

指定管理者

ふれあい遊トピア公園及び仁木町民スキー場の指定管理者を株式会社北海道名販に指定する議案が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

なお、指定期間は令和2年4月1日から令和5年3月31日までの3年間です。

何に使う



ふるさと納税

ふるさと納税は、学校給食費補助事業や定住促進住宅補助事業、乳幼児健診事業などに活用されます

佐藤 本町の財政は地方交付税などに依存し、財政基盤の脆弱さは財政運営上大きな懸念要因だが、一部予算の中で、職員自ら実行可能な事業を外注するなど、危機意識の希薄さは納得がいかないため反対する。



討論

野崎 予算特別委員会では、委員から多くの質疑や意見があったものの、町側からは十分な説明があり、子育て支援に関する環境整備など町民生活の改善に向けた取組も見受けられるため賛成する。



見てみよう！ 地域おこし協力隊 の活動



仁木町地域おこし協力隊
Facebook



仁木町地域おこし協力隊
けんご隊員のYouTube

スキー場の利用状況を報告します
積雪の状況から当初予定していた12月23日にオープンすることができず、1月4日から開設し、3月1日をもって終了しました。利用状況については、下記のとおりであったとの報告を指定管理者から受けています。今後も安全管理体制の保持を第一に、指定管理者とともに鋭意努力していきます。

- リフト乗車人数
26,686人 (前年度：60,406人)
- リフト券売上金額
3,088,480円 (前年度：5,668,000円)

岩井教育長の教育行政報告

「仁木町営住宅等長寿命化計画」は、町営住宅等の予防保全的な管理、長寿命化による事業量の平準化を図ることを目的として、町営住宅対策等の課題の整理及び町営住宅等の将来ストック量を設定し、既存の町営住宅185戸及び特定公共賃貸住宅16戸について、今後引き続き計画的に修繕し、維持管理していくものとしていきます。

「仁木町住宅マスタープラン」は本町における住生活の安定の確保及び向上の促進を図ることを目的として、住宅対策等の課題や本町の特性に応じた取組の方向性、検討事項等を整理し、住宅施策を設定しているものです。

今年度で計画期間が終了することから、令和2年度から令和11年度までを計画期間とする同計画の策定に着手しました。

佐藤町長の行政報告

仁木町住宅マスタープラン及び 仁木町営住宅等長寿命化計画を策定

小中学校に タブレット導入

補正予算

◇一般会計(第6号)

一般会計予算は、第5号の補正予算に続き、町内の小中学校における校内通信ネットワーク等整備事業の施行による追加補正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

この事業は、令和2年度に購入するタブレット端末と合わせて小中学校の授業等で活用される予定です。

その他の議案

▼地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正
全員賛成で可決

▼仁木町道路線の認定について(中フレイトイ線)
全員賛成で可決

▼仁木町道路線の廃止について(中フレイトイ線)
全員賛成で可決

▼仁木町道路線の一部廃止について(4番線)
全員賛成で可決

▼職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正
全員賛成で可決

▼仁木町監査委員条例の一部改正
全員賛成で可決

▼仁木町民スキー場設置管理条例の一部改正
全員賛成で可決

▼仁木町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
全員賛成で可決

▼仁木町営住宅管理条例の一部改正
全員賛成で可決

令和2年第1回定例会

賛否の分かれた議案の公表

議案名	唐 直之	木村達生	門脇吉春	佐藤秀教	嶋田 茂	野崎明康	上村智恵子	宮本毅夫	横関一雄	議決結果
令和2年度余市郡仁木町一般会計予算(起立採決)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	原案可決

○…賛成、●…反対

※全員賛成の議案は、掲載していません。また、議長は採決には加わりません。

子どもが必要な時に医療機関を受診できるしくみを！

子どもに対する医療費 助成の拡充を要望

意見書

▼子どもの医療費無料化
制度の拡充を求める意見書

提出議員 嶋田 茂
賛成議員 鷹 直之

少子化の進行や子ども
の貧困が北海道の喫緊の
課題となっており、すべ
ての子どもたちの健康を

守るため、お金の心配を
せずに必要な時に医療機
関を受診できるように、
医療費助成制度の拡充が
求められている。

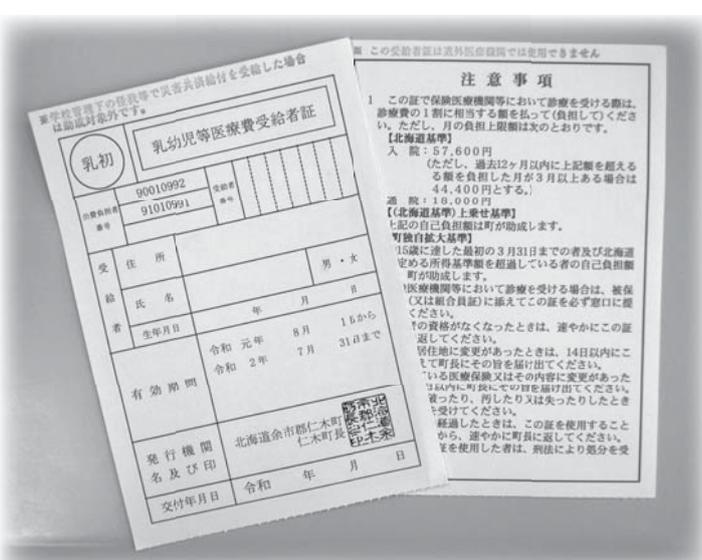
北海道の子ども医療費

助成の通院無料化は他県
と比較しても大きく遅れ

ていることから、制度の
拡充を要望するもので、

審議・採決の結果、**全員**
賛成で可決し関係機関に

提出しました。



医療費助成制度は子育て世帯を支えています

決議

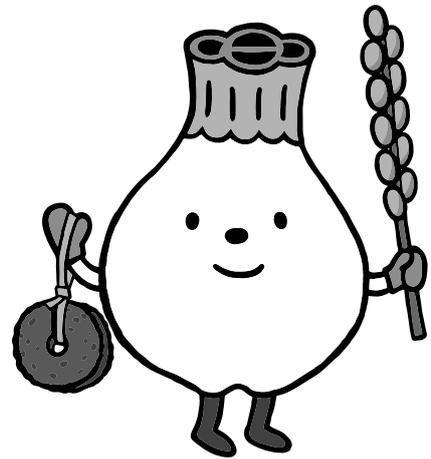
▼民族共生の未来を切り
開く決議

提出議員 野崎 明廣
賛成議員 嶋田 茂

民族共生の未来を切り
開く決議が提出され、審
議・採決の結果、**全員賛
成で可決**しました。

決議文（要約）

アイヌ文化の復興・発
展の拠点としてウポポイ
(民族共生象徴空間)が



ウポポイPRキャラクター トウレッポ

北海道白老町ポロト湖畔
に誕生する。

先住民アイヌを主題
とした日本初の「国立ア
イヌ民族博物館」と「国
立民族共生公園」等から
なるこの施設は、道内各
地のアイヌ文化振興の取
り組みや食・観光等の地
域の多様な魅力とつなげ
ることにより、国内外へ
の総合的な情報発信の強
化となり、国民理解の促
進が大きく期待される。

よって、仁木町議会は、
ウポポイ開設を機に、ア
イヌの人々の誇りが尊重

される社会の実現が図ら
れ、北海道が魅力ある大
地であり続けるため、仁
木町民の協力を得て「民
族共生の未来を切り開
く」決意をここに表明す
る。

その他の意見書

▼新たな過疎対策法の制
定に関する意見書

提出議員 門脇 吉春
賛成議員 佐藤 秀教

全員賛成で可決

▼教員の変形労働時間制
を導入しないことを求め
る意見書

提出議員 上村智恵子
賛成議員 佐藤 秀教

全員賛成で可決

▼大規模森林火災、気候
変動の原因とされる温暖
化へのさらなる対策を求
める意見書

提出議員 上村智恵子
賛成議員 野崎 明廣

全員賛成で可決

特集

町民の声は届いたのか



平成24年2月9日発行の議会だよりにき第92号から連載を開始した、裏表紙の『絆〜家族のつながり〜』では、町や議会に対しての要望を伺ってきました。

数々の要望を頂きましたが、町に対して一番多かったのが、子どもが集まれる児童館の建設でした。その他、農業関係では新規就農者を増やす取組の充実や、野菜や果樹ハウスに対する補助事業の継続を求める声が多くありました。

また、議会に対しては、ナイター議会の開催を望む声が一番多く、次いで、議会報告・意見交換会の開催を求める声がありました。

今回の特集では、今まで町民の方からいただいた要望をピックアップし、実現に至ったものを紹介します。

『児童館の建設を！』

2016.5.19
第110号



三原さんファミリー

子どもが集まって遊べる児童館のような施設がほしいです。

どうなった？

児童館など、冬場でも子どもたちが遊べる場所があるといいですね。

2018.8.9
第119号



三上さんファミリー

今号

令和5年の完成を目指し、児童館の機能を持ち合わせた、子育て支援拠点施設に着工いたしました。

※詳細は23ページを参照

『国保税の引下げを！』

2014.5.15
第101号



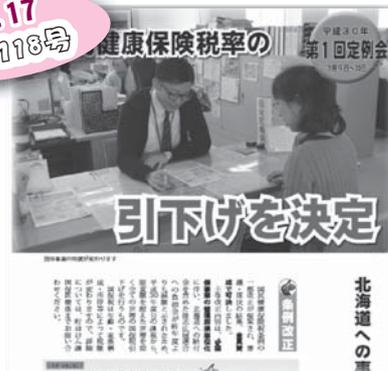
小野さんファミリー



どうなった？

国民健康保険税が高いです。他市町村と比べて高いのは不公平に感じるので改善してほしいです。

2018.5.17
第113号



制度改正等により、税率が引下げられました。

『保育料の助成を！』

2015.11.12
第108号



濃辺さんファミリー



どうなった？

保育料の負担が大きいので、助成制度を作してほしいです。

2017.8.10
第115号



第2子目の保育料が半額から無料になりました。

『SNSで情報発信を！』

2015.5.21
第105号



船岡さんファミリー



どうなった？

SNSを活用して情報を流すべきだと思います。

公式Facebookを開設



平成28年3月からFacebookで情報発信を開始しました。



掲載はできませんでしたが、要望であった野菜や果樹ハウスに対する補助事業の継続や、議会報告・意見交換会の開催についても町民の声が届き、実現されました。

一方で、要望が多く実現に至らなかったものとしては、新規就農者や移住者に対する、空き家を含めた『町の住宅情報』の取りまとめや、『公園の充実』、『ナイター議会の開催』等がありました。

実現に至っていない要望については、時代に即した形で実施することや必要性などを考慮しつつ、町に働きかけてまいります。

町民の声を聴くことは新たな視点でものごとを捉える良い機会だと考えており、今後も議会広報を通してたくさんの方と触れ合い、少しでも多くの声を聞くことができますよう、活動を展開してまいります。

一般質問

第1回定例会の一般質問には、5人の議員が登壇しました。
紙面の都合により、内容を要約してお知らせします。

町政のそこが聞きたい



のざき あきひろ
野崎 明廣 議員

17

町道の実態



さとう ひでのり
佐藤 秀教 議員

18

土砂災害等の防止対策



まろ なおゆき
磨 直之 議員

19

人口増加への具体的施策



うえむら ちえこ
上村智恵子 議員

20

待機児童と保育士不足の解消
安全・安心な学校給食



かどわき よしはる
門脇 吉春 議員

21

今後の地域防災マスターのあり方

一般質問の詳しい
内容はコチラから
Check!
(第1回定例会2日目)



こキポ-のなになに?

一般質問とは



一般質問とは、議員が町政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め、又は疑問をただすことです。

町道の早急な整備を

町長 優先度の高い順に着手していく

問 本町が管理している157路線の町道の補修工事や改良工事に至る基準は。

町長 町道の補修については、路面の陥没・轍^{わだち}ぼれ等により通行に支障が生じる場合に、改良については、住宅が点在する砂利道や交通量が多く危険がある場合など、それぞれ状況に応じて対応している。

問 多くの町民の要望に迅速に対応するために、町道の管理業務を委託する考えは。

建設課長 令和2年度から町道の全路線の道路維持業務を委託化し、町職員も引き続き、パトロール等を実施する。また、要望等への対応としては、これまで同様に、安全性や緊急性等を判断し対応していく。

建設課長 町道に架かる橋りょうは、大型車両の通行に問題はなく、農業用水路の橋りょうについても、担当の土地改良区が協議していると聞いている。

問 馬群別長沢線は路盤舗装整備として、今年測量設計に着手する予定だったが、新幹線の掘削土の運搬ルートとなることから保留という決断になった。なぜ予定どおりに着手しないのか。



早急な整備が必要です。(馬群別長沢線)



のざき あきひろ
野崎 明廣 議員

問 北海道新幹線や横断自動車道の工事に係る大型車両の運搬路線は、農業用水路を含む7か所の橋りょうを横断するが、耐久性に問題はあるか。

副町長 1日当たり最大で150台程度の車両の通行が想定されることもある。

問 銀山中線に架かる橋りょうは銀山駅利用者の生活道であり、銀山中学校への通学路でもあることから、早急な補修が必要ではないか。

町長 道路整備に対する基本的な考え方として、優先度の高いものから着手してまいります。については、未改良路線や緊急的な整備が必要と判断したものが優先度の高いものに該当するが、今後、総合計画や過疎計画を策定していく中で、緊急的に必要な箇所、優先的に必要な箇所等を精査しながら計画を立ててまいりたいと考えています。



さとう ひでのり
佐藤 秀教 議員

然別生活館の避難場所としての役割は

町長 様々な場面を想定し精査する

問

土砂災害防止法では、「基礎調査」を基に警戒区域の選定が行われる。調査するにあたり、地域住民への説明会等を実施することになっているが、その内容と調査結果に基づいた具体的な災害防止対策は、

町長

北海道が基礎調査を実施し、警戒区域等に係る町内会長への説明を経て、昨年8月～9月にかけて町内3か所において、居住者及び地権者を対象に説明会を開催した。

対策としては、調査結果に基づいて令和2年度に防災ガイドマップを作成し、警戒区域の該当箇所その他、土砂災害の前兆現象や避難行動内容を周知し、その取組に併せて地域防災訓練を実施するなど、町民の防災意識の醸成に努めていく。

問

然別地域は、大雨による災害想定時の避難場所が大江コミュニティセンターに指定されているが、高齢者等地域の方々が避難する際の対応は。

企画課長

平成29年に土砂災

害を想定した然別地区の避難訓練を消防、自衛隊の協力により実施した。その際、自力で避難できない方についてはバスを用意して対応した。また、今後においても

問

避難訓練をとおして災害時の対応を構築してまいりたい。

問

然別地区において災害が想定される場合、然別生活館が避難所として開設されるのはどのような場合か。

町長

様々なシミュレーションを実施することで、避難経路など、従来の考え方と相違が出る場合もあるので、様々な場面を想定して精査していきたい。

問

個人の防災意識を高めることで、自然災害へ素早い対応ができることや、人災を少しでも防ぐことができることから、今後は町民の防災意識の向上について積極的に取り組む必要があると考えるが、町長の見解は。

町長

今後は、地域防災リーダーが核・主軸となるような体制を構築し、防災のあり方について検討していきたい。



急傾斜地のすぐ下に位置する然別生活館

ニキボ-の友に友に？

土砂災害防止法とは



正式名称を、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律と言います。土砂災害から国民の生命を守るため、危険の周知や警戒避難態勢の整備、住宅等の新規立地の抑制、既存住宅の移転促進等のソフト対策を推進しようとするものです。

人口増加の具体的施策は

町長 重点戦略をバランスよく進める

問

人口増加への具体的な施策について、①総合戦略における4つの重点戦略の中でどの項目を特に重要と考えているか。

②具体的にどのようなことに取り組んでいくのか。
③空き家、中古住宅の有効活用をどのように考えているのか。

町長

①4つの重点戦略を第1期総合戦略から継承すると

ともに、近年の人口減少対策の考え方を取り入れ、それらをバランスよく進めることが重要だと考えている。

②4つの重点戦略を実現するために、更に4つの重点プロジェクトを設けており、基幹産業である農業の生産基盤づくりに向けた支援や、生産者の所得向上などに取り組んでいく。

③移住者の住宅確保は重要な課題であり、空き家等を活用することは有効な手段である。

また、「しりべし空き家BANK」を活用し、町内ではこれまでに10件の物件が登録され、そのすべてが成約済となったところである。

問

基幹産業である農業の生産基盤づくりについて、各種支援や事業の内容はどこで知ることができるのか。

企画課長

新規で就農する方に向けて、移住・定住用のパンフレットを作製している。

問

ホームページ等、インターネットを活用した情報発信は行わないのか。

産業課長

必要な時期に掲載している。また、内容も順次更新していくような取組を今後も継続していきたい。

なお、昨年度・今年度ともに「ホームページを見た」という切り口で20件程度の就農についての相談があった。

問

「しりべし空き家BANK」の最終掲載日が3年近く前だが、継続していく意味はあるのか。

また、空き家の活用はもっと積極的にやっていくべきではないのか。

企画課長

「しりべし空き家BANK」に登録する段

副町長

空き家のリノベーションも含めて有効活用についての支援も考えている。

また、民間共同住宅への建設費の支援を来年度も継続して行い、新規就農者も含め、生活しやすい環境を整えていきたい。



空き家の活用は重要な課題です

まる磨



なおゆき直之 議員



うえむら ちえこ
上村智恵子 議員

待機児童の解消は

町長 認可定員を10名増員する

問 待機児童の解消に向けて、にき保育園の定員数を増やすことは可能か。

町長 令和2年度から認可定員を10名増やし、現行50名から60名に増員する予定となっている。

また、現在は国の指導により、待機児童の解消のため、定員を超えて入所できる「保育所定数の弾力化」が講じられており、この制度を活用し、現在は定員50名のところ71名を受け入れている。

問 新年度には待機児童は発生しないのか。

住民課長 新たに入所する児童はならし保育を実施するため、4月1日時点ですぐに解消されないが、4月から5月にかけて全64名が入所し、待機児童数は0の状態になる。

給食に使用している小麦は

教育長 全量道産小麦を使用

問 先日、輸入小麦で作られたパンから発がん性の疑いのある除草剤・グリホサートが検出されたと発表されたことがメディアに報じられたが、本町の給食に使用している小麦はこの国のものか。

教育長 本町で使用するパン用小麦は、公益財団法人北海道学校給食会を通じて購入しており、主要銘柄である「春よ恋」を始め、全量北海道産小麦を使用している。

教育長 北海道産の割合は平均33・8%であり、仁木町産の割合は食材購入ベースで17・3%である。

問 仁木町産の割合が17・3%では低いのではないか。

所長 地産地消の観点からも、本町産のものを仕入れるべく、野菜等については発注数量と使用数量に差があることから、使用が困難なケースもある。

注でできるものを農協を通じて購入しているが、最低発注数量と使用数量に差があることから、使用が困難なケースもある。



本町のパン給食は北海道産小麦のみを使用しています

地域防災マスターを活用した取組は

町長 地域防災力向上の中心的作用に

問 本町において、地域防災マスターを数名が取得したが、地域防災マスターを活用した取組は。

町長 本町では6名が取得しており、町主催の防災等講習会に、講師として豊富な知識やこれまでの経験を基に地域住民に対する講習を行っていただいている。

また、北海道では地域防災マスターの認定研修会を定期的に開催しているため、自主防災組織等に対し、本制度の周知とともに講習参加を呼びかけ、地域における防災力のかねめとして活躍できる人材の育成に努めてまいる。

問 地域防災マスターによる地域住民に対する講習会はどのように実施したのか。

企画課長 本町の地域防災マスターには元消防勤務の方もあり、平成24年から27年の間に合計で8回、町内の各地区において「DIG」という災害を

想定した図上訓練を中心に講習をしていただいた。なお、うち1回は「やすぎ大学」で高齢者の方を対象に実施した。

問 災害時において避難するの支援が必要な方は、災害対策基本法の改正により名簿の作成が義務付けられているが、民生委員や自主防災組織も活用が可能である。支援が必要な方を救うためにも防災マスターを活かしてほしい。

対応できる人材を育てていくことが、重要である。経験者や意識の高い方に対して、講習等を実施できるような機会を与えて活動していただく必要があると認識している。

町長 今後、総合的に防災計画を町として考える中で、地域の防災リーダーをいかにして作り、何よりも地域で災害が起こった際に

問 女性の視点も大事なため、女性も含めた人材育成をお願いしたいが、町長の見解は。

行政職員OBなど、それぞれ各分野でこれまで防災に少しでも触れた経験のある方を対象に、地域防災マスターへ促している。その中でも、女性の視点とという部分で、女性の活用も考えて老若男女すべての方を対象にした、防災の仕組みをこれから町として取り組んでいきたい。

町長 消防団、又は自衛隊、警察、



いかに迅速に避難できるかが重要です

かどわき よしはる
門脇 吉春 議員



令和2年1月31日及び2月26日に全員協議会

が開催されました。協議された案件は下記のとおり

ですが、内容を一部抜粋して掲載いたします。

全員協議会

1月31日

- ・仁木町まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略に関する件
- ・北後志衛生センターし尿処理施設の更新に関する件
- ・仁木町学校教育基本方針の進捗状況に関する件

2月26日

- ・新型コロナウイルスの対応に関する件
- ・子育て支援拠点施設整備構想に関する件
- ・第6期仁木町総合計画の策定に関する件
- ・北海道新幹線トンネル発生土の町有地受入れに関する件

対策土は

長沢地区町有地で受入れ

2月26日に開催された全員協議会において、町側から北海道新幹線トンネル発生土の町有地受入れについての説明がありました。

現在工事が進められている北海道新幹線二ツ森トンネル（尾根内工区）の掘削土について、土壌汚染対策法で定められた自然由来重金属等の基準値を超える発生土（対策土）の受入れ地が地域住民への説明会や、鉄道・運輸機構による地質調査・化学分析等の実施等を経て、長沢地区の町有地とすることです承されました。



質疑あれこれ

Q 受入れ地の下流には田圃、用水路等が存在するが、流出の可能性は。また、盛土施工後の水質調査は2年間で十分なのか。

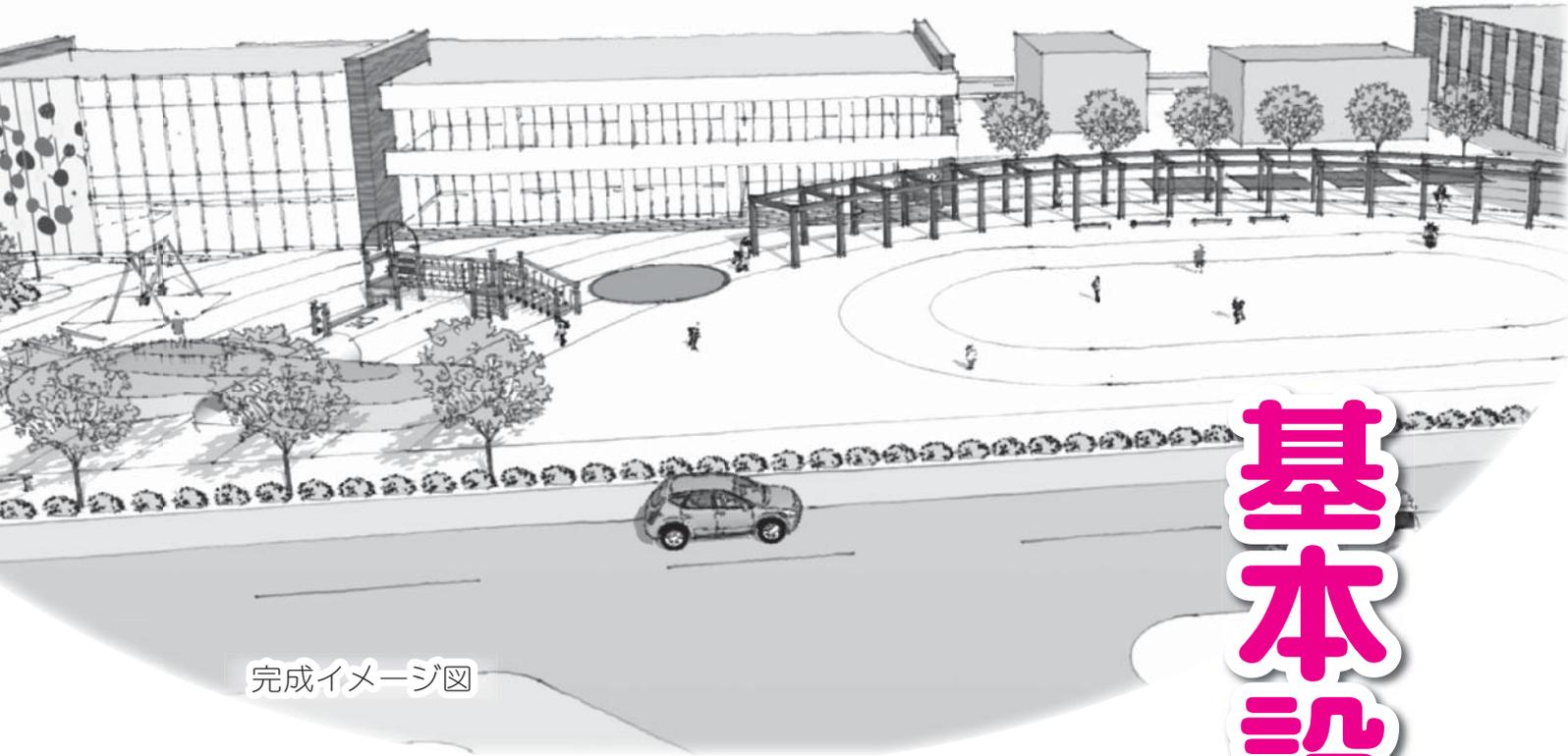
A 流出の心配はないがその他の点も含めて地域の方の心配な点を、もう一度実施する説明会の際に解消していきたい。

また、盛土施工後の水質調査は基本的には2年間だが、解析の結果を見ながらその後の対応を検討していく。



トンネル掘削の様子

子育て支援拠点施設



完成イメージ図

基本設計に着手

同日の全員協議会では、仁木町子育て支援拠点施設整備構想についても説明がありました。

子育て支援拠点施設のコンセプトは「遊びや学びを創造し、安心を支え、元気を生む子育て支援のプラットフォーム」とし、子ども・子育て世代を中心に利用しやすい施設とするものです。

また、建設候補地についても説明があり、4か所の町有地を含む計7か所が検討地点として挙げられ、環境面などを含む候補地としての要件に合致する民有地を最終候補地として決定し、土地の取得について本格的に交渉していくことが説明されました。



質疑あれこれ

Q 土地取得についての進捗状況は。

A 地権者とは数回話をしており、前向きな返事をいただいている。

Q 建物が新しく、広くなることは良いことだが、それに伴い、保育士の増員・確保も重要ではないか。町としての対策は考えているのか。

A 今後、運営面についても併せて協議していくが、保育士確保の取組として、インターンシップの受け入れ確保に対する支援や、町内出身者を保育士として育てられるような取組を実施していきたい。



昨年はそうべつ子どもセンターを視察しました

次ページは 議会報告会・質問のゆくえ

議会報告 意見交換会



- ◆ 当日の次第
- 1 開会
- 2 議長挨拶
- 3 議員紹介
- 4 議会活動報告
- 5 意見交換
- 6 閉会

令和2年1月26日(日)然別生活館において、通算5回目となる議会報告・意見交換会を開催いたしました。当日は、然別町内会から27名の皆さまにご参加いただき、心よりお礼申し上げます。

新たな試み 地域限定で開催

今回の議会報告・意見交換会は、地域にクロージアアップした意見交換を実施する観点から、新たな取組として然別地区の方限定で開催しました。

当日は、宮本副議長が司会を務め、横関議長の挨拶、議員の紹介、議会活動報告、意見交換の流れで進行し、特に意見交換に時間を多くとる構成で実施しました。

意見交換の場面では、参加された皆さまから、たくさんの貴重なご意見やご質問をいただき、実りある議論を交わすことができました。

いただいたご意見等を今後の議会活動に活かし、さらにまちづくりを進めてまいります。

皆さまからのご質問

Q ニキバスの然別地区の運行予定は。

A 日程も含めてまだ決まっていませんが、然別地区はもともと中央バスが運行していたことあるので、検討してもらえよう町側に働きかけていきます。

催地域であったこと、また、町内でも高齢化が進んでいる地域であり、その対策も含めて地域の実情を話やすい環境で開催したいとの思いから地域限定にしました。

Q JR函館本線の存続は。

A 新幹線が札幌まで延伸した時点で、経営分離されることが決まっています。

Q 今回の議会報告・意見交換会を地域限定にした理由は。

A 今まで仁木、銀山、大江地区で開催し、未開

在来線の存続も含めて、地域住民の皆さんにとって最善の方法で、地域交通機関が整備されるよう対応してまいります。

貴重なご意見ありがとうございました

※おこたわり
ご意見・ご質問の一部を抜粋して掲載させていただきました。



あれからどうなった？

質問のゆくえ

議会だよりでは、定例会での一般質問や町民の皆さんからの請願・陳情を掲載していますが、町政にどう反映されたのかを追跡調査しています。

子どもセンターを建設

通学路の一部を整備

〔平成30年第1回定例会〕

質問 子どもセンターの建設を

にき保育園は老朽化が進んでいる。子育て世代への支援と併せ、子どもたちの環境整備として子どもセンター建設の検討を。

早急な対応が必要だと認識している **答弁**

平成31年3月31日を目途に方向性を出したいと考えている。

あれから…こうなりました



仁木町子育て支援拠点施設整備構想（仮称）を策定

現行の保育所、学童保育、地域子育て支援拠点をベースとして、新たに児童館を加え一体化させた施設を、令和5年度からの供用開始を目指し、着手することになりました。

〔令和2年第1回定例会〕

質問 町道の実態は

通学路に架かる橋りょうの老朽化やガードロープの損傷が見受けられるため早急な対応を。

優先度の高いものから着手したい **答弁**

緊急的に整備が必要と判断した路線から着手していく

あれから…こうなりました



ガードロープの修繕を当月中に実施

ガードロープがすぐに修繕され、通学路の安全が確保されました。

ギカイピックアップ

第34回町村議会広報全国コンクール

優秀賞（全国第4位）

を受賞しました！

この度「議会だよりにき122号」が第34回町村議会広報全国コンクールにおいて、住民目線での企画と編集が評価され、過去最高位である優秀賞（全国第4位）を受賞しました。今後も、今まで以上に読みやすい議会広報紙作成のため、日々研鑽を重ね努力していきます。



議会だよりにき 122号



2年連続4度目の受賞となりました



もつとチャレンジを

瀧下 洋介さん（西町）

連載18回目は、西町在住の瀧下さんファミリーを紹介します。奥様とお子さん3人、奥様のご両親の7人家族です。お仕事は養蜂家をされています。

◎仁木町の子育て環境はどうですか。

仁木町に来て8年が経過しますが、近隣の方も優しく、地域一体となつてのびのびとした子育てができ、嬉しく思います。

◎子どもの生活のことで望むものはありますか。

小児科が近くになく不便だと感じます。緊急時には年中無休の札幌の病院に行くこともあり、医療面の充実を図ってほしいです。

◎町に対して何か望むことはありますか。

商店やスーパーなど地元でお金が使われるように、買い物ができる場所があれば良いと思います。

また、町の財政状況は厳しいと思いますが、「お金が無いからできない」ではなく、無いなりにチャレンジしていく姿勢を見せてほしいです。

仁木町を目的に來てもうら、町内で1日を過ごしてもらえよう、魅力のある町になればいいですね。



（取材・インタビュー 門脇吉春）

◎議会を傍聴したことはありますか。傍聴したことはありませんが、議会だよりは毎号読んでいます。

◎お子さんに対してメッセージを！

健康であれば他は望みません。でも、家業は継いでほしいかも・・・。

ちよつとシャイな長女さん、人懐っこい長男さん、元気いっぱい二女さんの3人はとても活発。カメラのフレームに収めるには少し苦労しました。奥様からの「お金が無いなりにチャレンジしてほしい」の言葉は、議会活動を行う上で、新たなことに取り組もうとするこの大切さを再認識させてくれました。

発行日/令和2年5月21日(年4回発行)
発行/北海道仁木町議会
編集/議会広報編集特別委員会

次の議会は
6月
定例会
(6月中旬開催予定)

- ◆編集・発行責任者
議長 横関 一雄
- ◆議会広報編集特別委員会
委員長 野崎 明廣
副委員長 木村 章生
委員 磨 直之
委員 門脇 吉春

寄付行為の禁止

議員は、選挙区内の方にお金や物を贈ることは、法律で禁止されています。また、有権者が求めてもいません。ご理解をお願いします。

そば打ち体験しませんか？

町民を紹介！



銀山そば研究会の皆さん



銀山そば研究会の皆さん

2月15日に開催されたデイサービスえんれいそうでのそば打ちに参加させていただきました。そばを打つのは、地域で35年以上続いている新そば収穫試食会を引継ぎながら活動し、今年設立6年目を迎える銀山そば研究会の皆さんです。会員はそば打ち歴60年のベテランの方や、高校時代に全国チャンピオンになった経歴をもつ現役大学生などバラエティに富んだ5名で、主に銀山女性の会のみなさんと一緒に、地元で生産される



湯がきたてのもりそば

銀山そばを多くの方に知ってもらい食べてもらえるように活動しています。

そば打ちの場面では、その迫力に会場から「すごいねー」と声上がり、出来上がりのそばを食べる際には「おいしいー」と喜びの声がたくさん聞こえてきました。

銀山そば研究会の皆さんは、銀山小学校で隔年で行っているそばについての学習や試食体験会の他、銀山白銀物語やフルーツの里料理教室などでもそば打ち体験を実施しています。また、地元のそば生産者の方からそば打ちの依頼を受けることもあるそうです。

銀山そばの美味しさとそば打ちを体験してみたいかがでしょうか。

（取材・記事 野崎明廣）